



蟹江小だより

ちがいは宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

蟹江町立蟹江小学校

第3号

令和7年4月25日

発行者：佐古達哉

♪ 全国学力・学習状況調査

17日（木）には、6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」を実施しました。この調査は、毎年小学6年生と中学3年生を対象に文部科学省が実施をしているもので、その結果や分かった子どもたちの状況について、11月頃に対象となった子どもたちや保護者の皆様に情報提供がされています。

17日（木）の実施では、国語・算数・理科について、どの子も真剣に調査に取り組んでいました。ちなみに子どもたちの生活や学習の状況について調査をする「質問紙」の回答は、今年度は紙面ではなくオンラインで行われる関係で、回線の混雑を避けるために本校は22日（火）の午後に実施をしました。2回に分けたそれぞれの調査の際には、不測の事態に備えて教務主任の先生が学年の廊下で待機するようにして、万全の態勢を整えて実施をしました。何より6年生の皆さんの調査への真剣な取組のおかげで、無事に終了することができました。ご協力ありがとうございました！



♪ 地域の「サポーター」

17日（木）には、本校の北校舎にあるなかよしホールで「蟹江小学校擁護会役員会」が開催されました。この会では、擁護会の活動内容、さらに会が終わった後には地域の子ども会との連携のあり方などについて、多面的な話し合いが行われました。この会には、学区の各地域を代表する方々が参加をしていただきましたが、地域から子どもたちの安心・安全を守る「擁護会」が、いかに子どもたちを支えているかが伝わってきました。

近年は、さまざまな理由から、地域コミュニティの存続の難しさや、時代のニーズに合わせた組織や活動の見直しの必要性が伝えられることが多くなっていますが、「子どもたちや地域のため」という温かい気持ちの存在を大切にしつつ、よりよい活動になるよう連携を深めていけることを願っています。



♪ 先生たちの「思い」がカタチに…

令和7年度の学校生活が始まって2週間余りになりますが、少しずつ新しいクラスにも慣れて、学校全体の

雰囲気生き生き、のびのびとしてきたように感じます。昨日開催をした「授業参観」でも、その雰囲気を多くの保護者の皆様に感じていただけたのではないかと思います。こうやって緊張感がほぐれてくると、子どもたちの生活面もだんだん緩くなっていく部分も見えてきています。

そんな中、それぞれの先生たちは、多くの子どもたちが落ち着いて、心穏やかに生活ができるよう、クラスや学校生活の「基礎固め」に力を注いでいます。

子どもたちが登校する朝には、勤務時間前にも関わらず、子どもたちに声をかけ、落ち着いた1日のスタートができるよう見守ってくれる先生がいます。

登校してきた子どもたちが「今日もがんばるぞ」と思えるように、教室の黒板に毎朝メッセージを書いてくれている先生がいます。

朝の教室に移動する途中で子どもたちの下駄箱の靴をそろえることで、集団生活で場を整えて生活をする大切さを伝える先生がいます。

子どもたちの生活リズムが整うよう、朝の「かにっこタイム」が始まるまでに自分で準備をすることが分かるように表をつくって子どもたちの自立を促してくれる先生がいます。

長い休み時間に子どもたちと運動場で遊びつつ、子どもたちが安全にみんなで遊べたり、放課と授業の切り替えができたりするよう声かけをする先生がいます。

ここ最近の暑さによる熱中症の心配に配慮をして、体育の授業での子どもたちの集合場所を木陰に設定をして安全に配慮をする先生がいます。



この書面に書ききることは到底できませんが、本校の先生方は、これ以外にも本当にたくさんのことを、子どもたちにとって学校が居心地良く、安心・安全な場所になるよう工夫した取組を精力的に進めてくれています。ご家庭でも、ぜひ「学校」という集団生活の意義を踏まえつつ、それぞれの発達段階に合わせたご支援・ご指導をいただきますよう、ご協力をお願いいたします。

ちなみに、先週から全校で目標にしてきた「一斉下校レベルアップ」大作戦は、今週月曜の一斉下校で大きな成果が確認できて、蟹江小学校が着実にステップアップしていることを実感できる1週間の始まりになりました！